

環境活動支援センター・児童遊園地 案内図

支援センター花暦

- 1月 ロウバイ
- 2月 ウメ、スイセン、マンサク、パンジー
- 3月 オカメザクラ、コブシ、トサミズキ、ボケ、ツバキ
- 4月 サトザクラ、ハナミズキ、ツツジ、ナシ、チューリップ
- 5月 サツキ、フジ、シヤクナゲ、ジャーマンアイリス、ヤエザクラ
- 6月 アジサイ、ハナショウブ、キンシバイ
- 7月 ムクゲ、アメリカデイゴ
- 8月 サルスベリ、ヒマワリ
- 9月 ハギ、ヒガンバナ
- 10月 ピラカンサの実



凡例

- 入口
- 駐車場(有料)
- トイレ
- 水飲み
- 自動販売機
- バス停
- ウメ (50品種)
- サクラ
- 特徴ある樹木

☆観察してみよう

- 1プラタナス 2ユーカリ 3ホオノキ 4イチヨウ 5モミジバフウ 6トウカエデ 7コウヨウザン 8ヒマラヤスギ 9ツバキ 10ハゼノキ 11セイヨウシヤクナゲ 12カツラ 13サルスベリ

横浜市児童遊園地

■公園の沿革と概要

児童遊園地は、学制50周年事業として大正11年から設置運動が始まり、当時の小学生が10銭ずつ出し合ったお金を基に買収を行い、整備を開始しました。関東大震災による工事の一時中断後、震災復興事業により運動場、大芝生広場、プールなどが整備され、昭和4年に完成、戦前は格好の遠足地として親しまれたそうです。

しかし戦後の接収により、英連邦軍の戦没者墓地に永久使用されることとなりました。つまり、現在の英連邦墓地の場所が最初の児童遊園地でした。

昭和32年から代替施設として隣接地を買収して整備を行い、昭和36年に現在の場所で開園しました。

昭和55年に環境事業局（現在の資源循環局）の保土ヶ谷工場が建てられると共に、園内に25m温水プール（保土ヶ谷プール）が設置され、年間を通して多くの人々に利用されています。

樹林に囲まれた池や広い自由広場、雑木林や竹林、ヒノキ林など既存の林も保全され、サクラ林や梅園、花畑など四季おりおりに花や自然を楽しめる公園です。

■所在地

横浜市保土ヶ谷区狩場町213

横浜市こども植物園

■概要

こども植物園は昭和54年6月23日、国際児童年を記念して開園しました。園内には、花壇・バラ園、野草園、くだもの園、竹園、花木園、生垣園、薬草園などが整備され、中には、ニュートンのリンゴの木、メンデルのブドウをはじめ珍しい品種が数多く集められています。園内では、各種展示会や植物教室、講習会が催され、緑の相談所も開設されています。

■所在地

横浜市南区六ツ川3-122

■開園時間

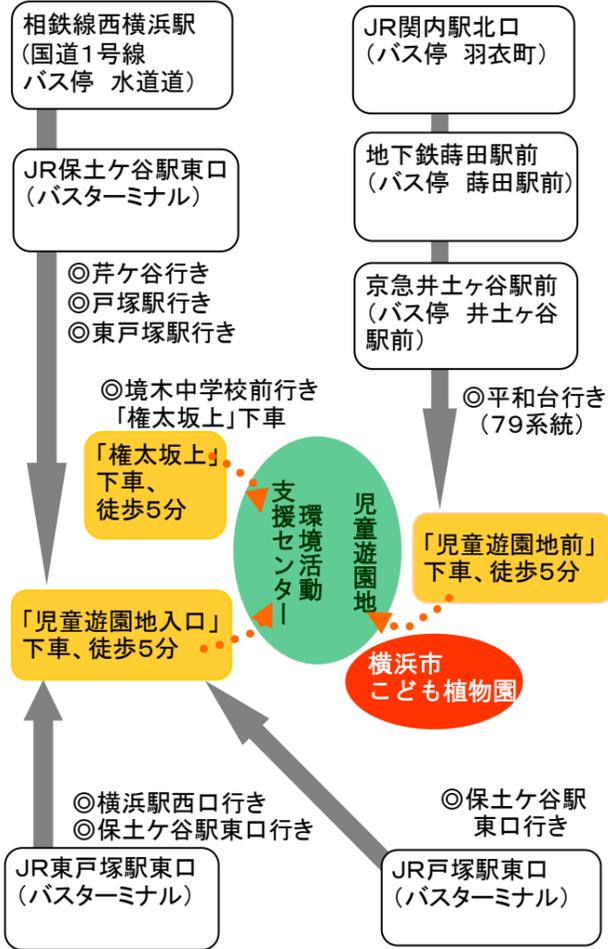
9:00～16:30
※休園日
毎月第3月曜日(祝日にあたる場合はその翌日)
12月29日～1月3日

■緑の相談所（電話番号）

741-1024 (9:00～16:00)
※休園日
毎月第3月曜日(祝日にあたる場合はその翌日)
12月29日～1月3日

交通案内

■バスでお越しの方



■お車でお越しの方

児童遊園地有料駐車場をご利用ください
有料47台 30分100円 以降30分:100円

お問い合わせ

■環境活動支援センターの施設、行事、管理等に関する事

横浜市みどり環境局環境活動支援センター
TEL 711-0635
FAX 721-6356
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/nochi/center/shiencenter.html>

■児童遊園地・こども植物園の施設、行事、管理等に関する事

公益財団法人 横浜市緑の協会
こども植物園
TEL 741-1015
FAX 742-7604
<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/>

環境活動支援センター



交流スペース



児童遊園地



こども植物園



環境活動支援センター

■概要

環境活動支援センターは、昭和43年農業技術指導所として横浜市児童遊園地の一面に設置され、その後緑化センターの名称で親しまれておりました。平成17年度より環境活動支援センターとして、市民が緑化・農業・園芸などとふれあえる各種支援事業を行っています。

地理的には横浜市の中央部に位置し、こども植物園・児童遊園地・英連邦墓地などと一体になった市内でも有数の緑豊かな環境の中にあります。

■所在地（横浜市児童遊園地の敷地の一部）
横浜市保土ヶ谷区狩場町213

■開園時間 年中無休

（事務所は、土、日、祝日、年末年始を除く
8時30分から17時15分まで）

■主な事業内容

《農業・緑化ボランティア活動への支援》

「農家のお手伝いをしたい」「公園等でボランティア活動に参加したい」という市民の方を対象に、「市民農業大学講座」を開催しています。

栽培管理の基礎と実際の作業を学び、農業や緑の環境への理解を深めていただくとともに、講座修了後の農家や公園等でのボランティア活動に対して支援を行っています。

《ボランティア活動の支援》

ボランティア等が、センターや児童遊園地、他の施設で行う花壇の手入れや除草等の環境活動を支援します。

《環境活動支援センター管理》

花や樹木の観察や散策を楽しんでいただくため、園内の樹木及び施設の維持管理を行います。

《横浜みどりアップ事業》

みどりアップ計画の一環として、樹林地の維持管理を行う人材育成と、樹林地の保全に関わる普及啓発事業を行います。

交流スペース

■概要

環境活動支援センター建物内に付属している交流スペースは、横浜みどりアップ計画の樹林地政策を軸とし、市民が横浜市の森に関心を持つきっかけづくりの場になる情報拠点です。

■所在地（環境活動支援センター本館内）
横浜市保土ヶ谷区狩場町213
TEL 713-6350(土日祝日9～17時)

■開館時間

9:00～17:00
※休館日
12月29日～1月3日